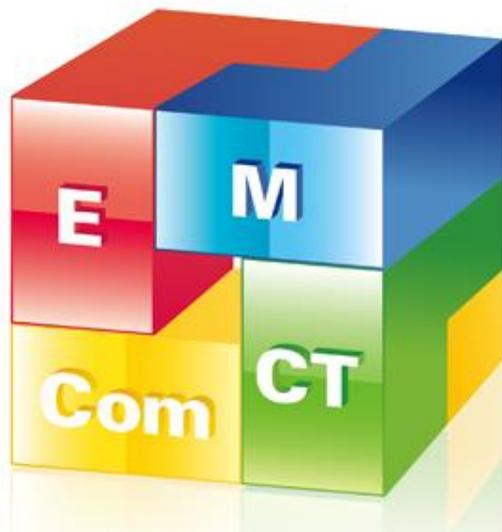


2018年3月期 第2四半期連結決算説明資料

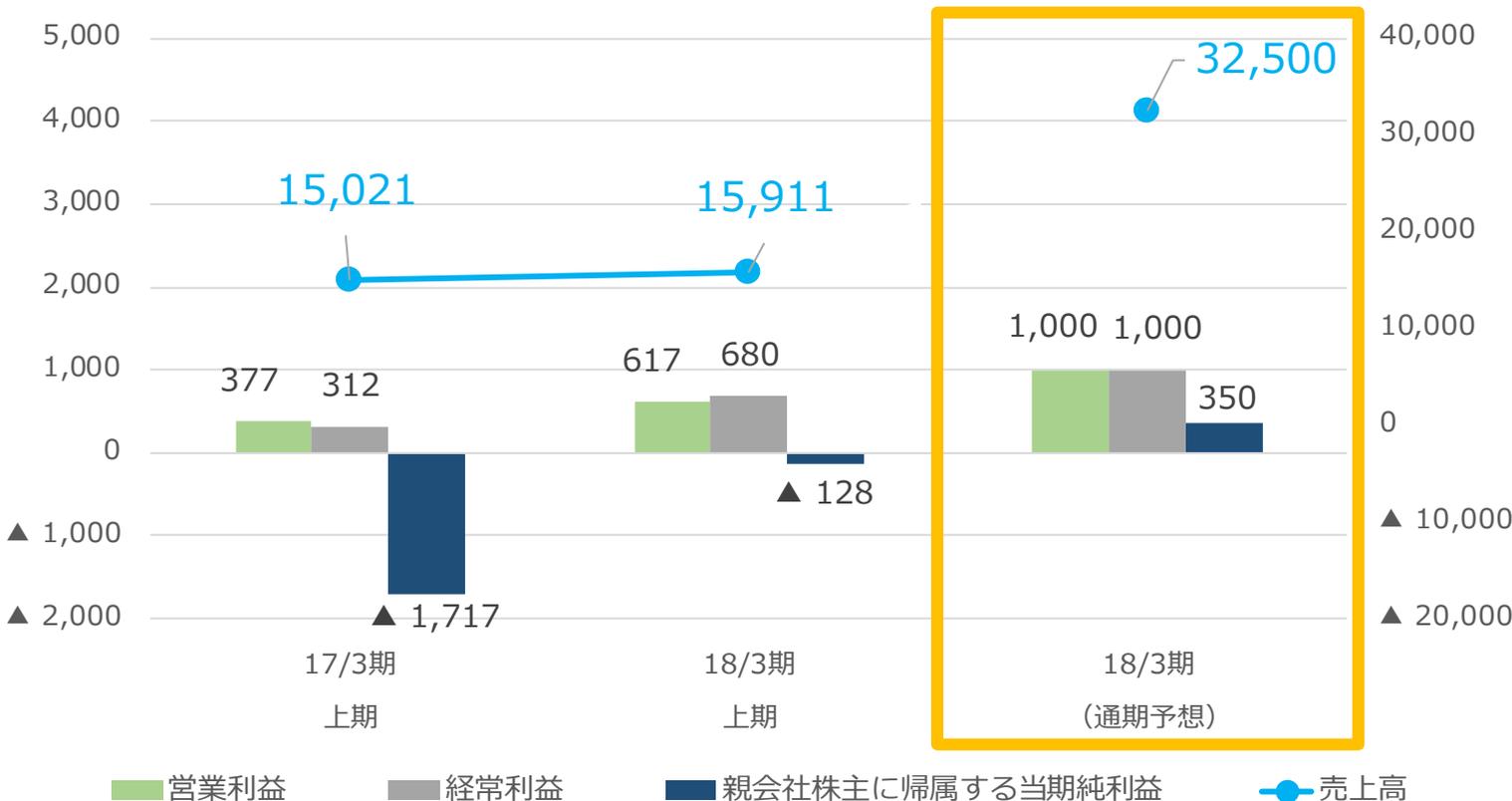
Our *T*echnologies *R*ealize *Y*our Dreams



2017年11月24日
オリジン電気株式会社

連結業績概要

(単位：百万円)



- 18/3期 上期は主にエレクトロニクス事業及びコンポーネント事業が好調となり前期比で増収増益
- 18/3期 通期業績予想は5月12日発表の数値から変更なし

旧日本社工場跡地の更地化 (2017.10.24)



東邦化研工業の新社屋 (2017.10.17)



連結業績

(単位：百万円)

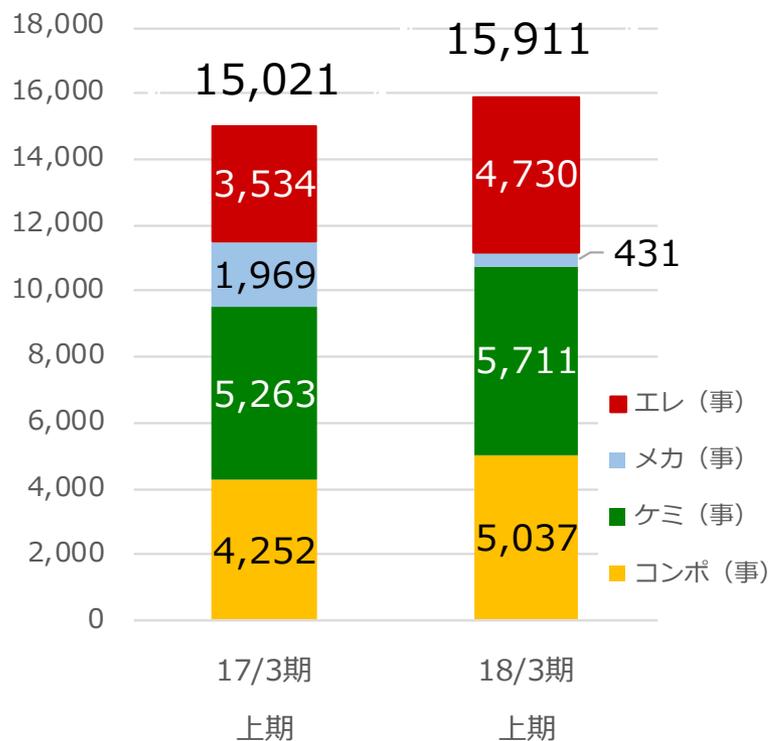
	17/3期 上期	18/3期 上期	前年同期 増減率
売上高	15,021	15,911	5.9%
営業利益	377	617	63.5%
経常利益	312	680	117.7%
親会社株主に帰属する四半期純利益	▲1,717	▲128	—
1株当たり四半期純利益	▲257.62	▲19.27	

- メカトロニクス事業部において、主力製品のMDBの売上減少に伴い、固定資産について帳簿価額を回収可能額まで減額し、267百万円の減損損失を特別損失に計上

連結売上高及びセグメント利益（全社費用配賦前）

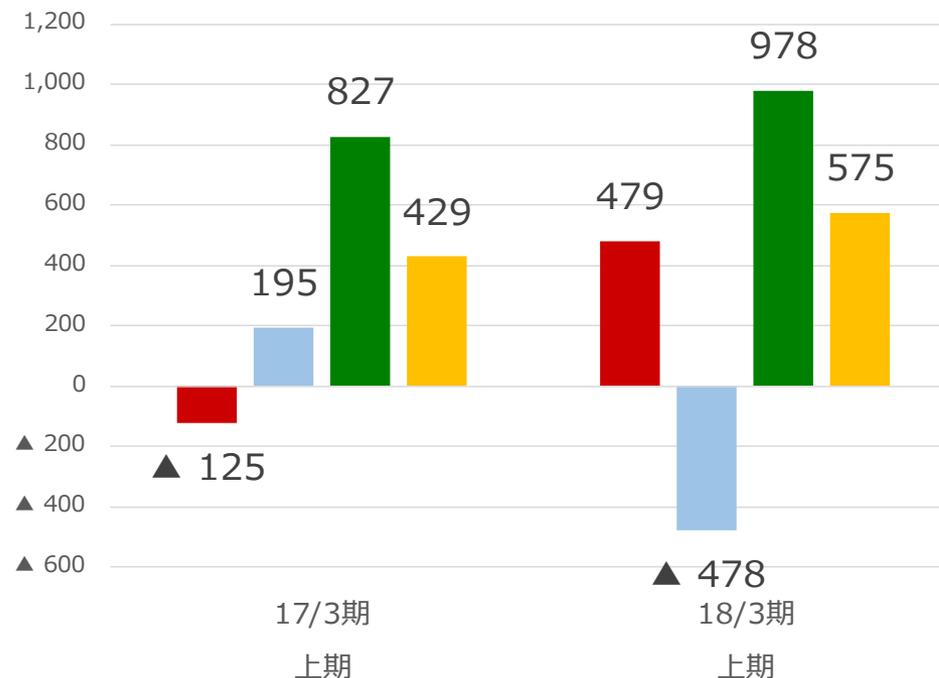
連結売上高

(単位：百万円)



セグメント利益

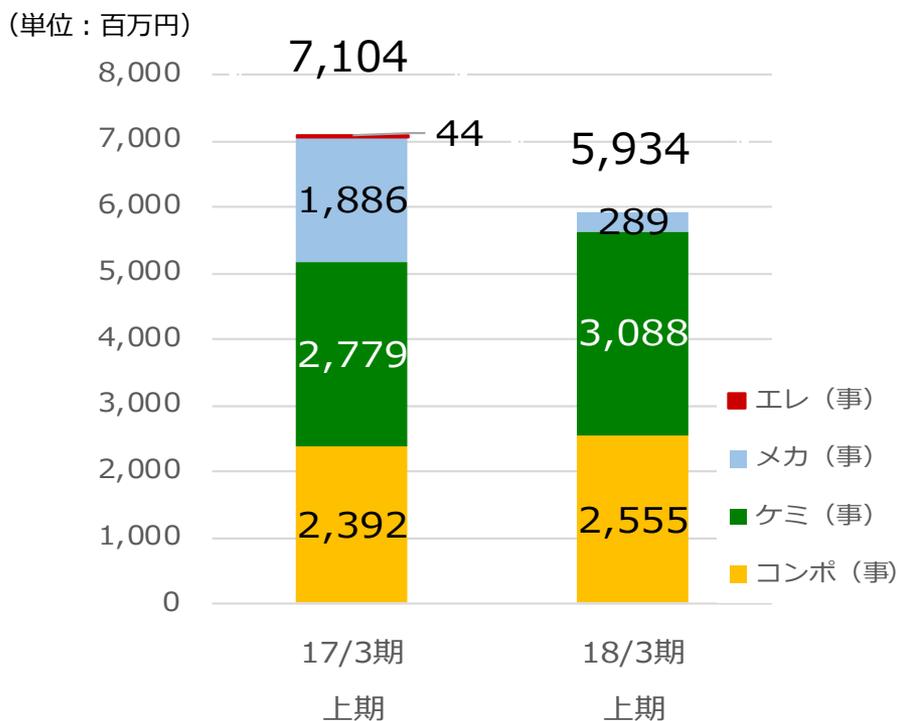
(単位：百万円)



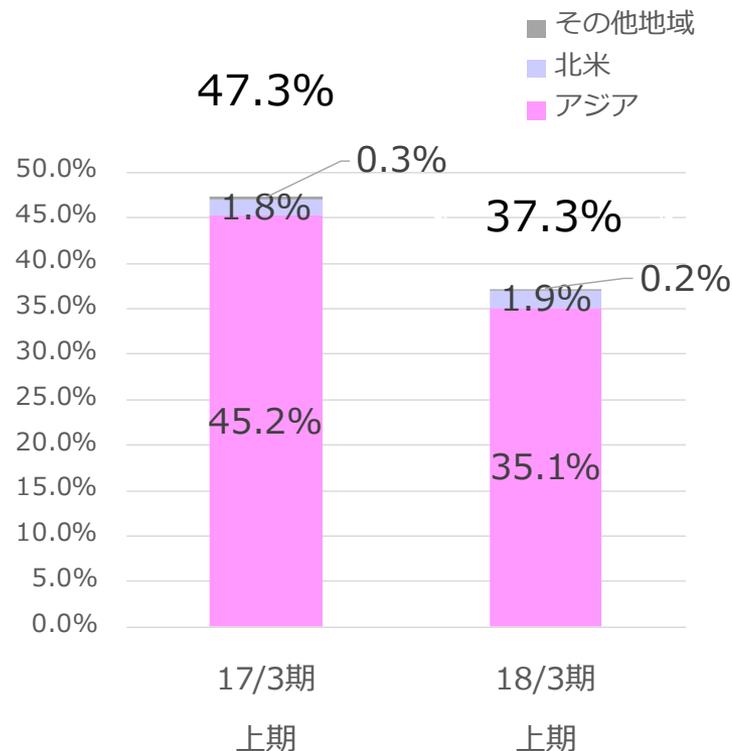
- エレ (事) : 無線基地局用電源が全国的に伸長したこと等により増収増益
- メカ (事) : M D Bが大幅減したこと等により減収減益
- ケミ (事) : 主力の自動車関連分野を中心に堅調に推移し増収増益
- コンポ (事) : 車載部品関係が堅調に推移し事務機器関連も大幅に伸長し増収増益

海外顧客向け連結売上高 (セグメント別・地域別)

セグメント別



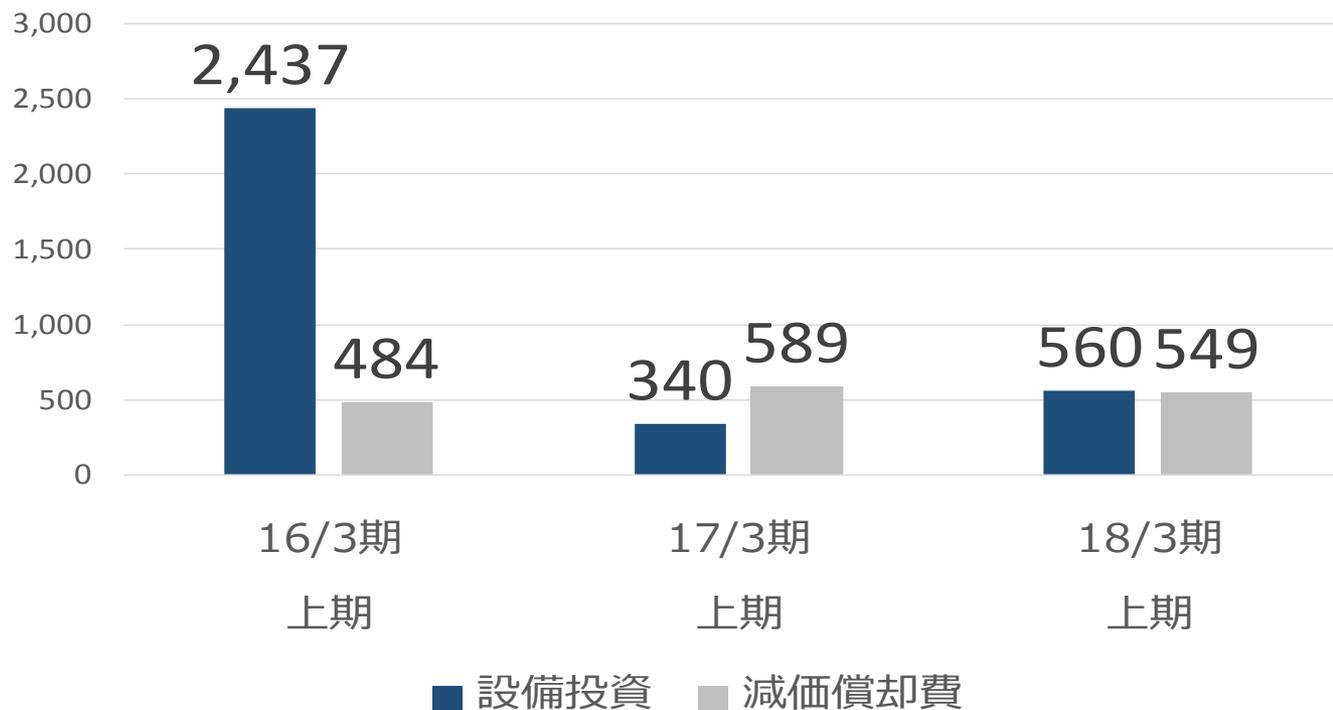
地域別



➤ メカトロニクス事業のM D B売上が落ち込み、海外顧客向け売上高大幅減少

設備投資、減価償却費

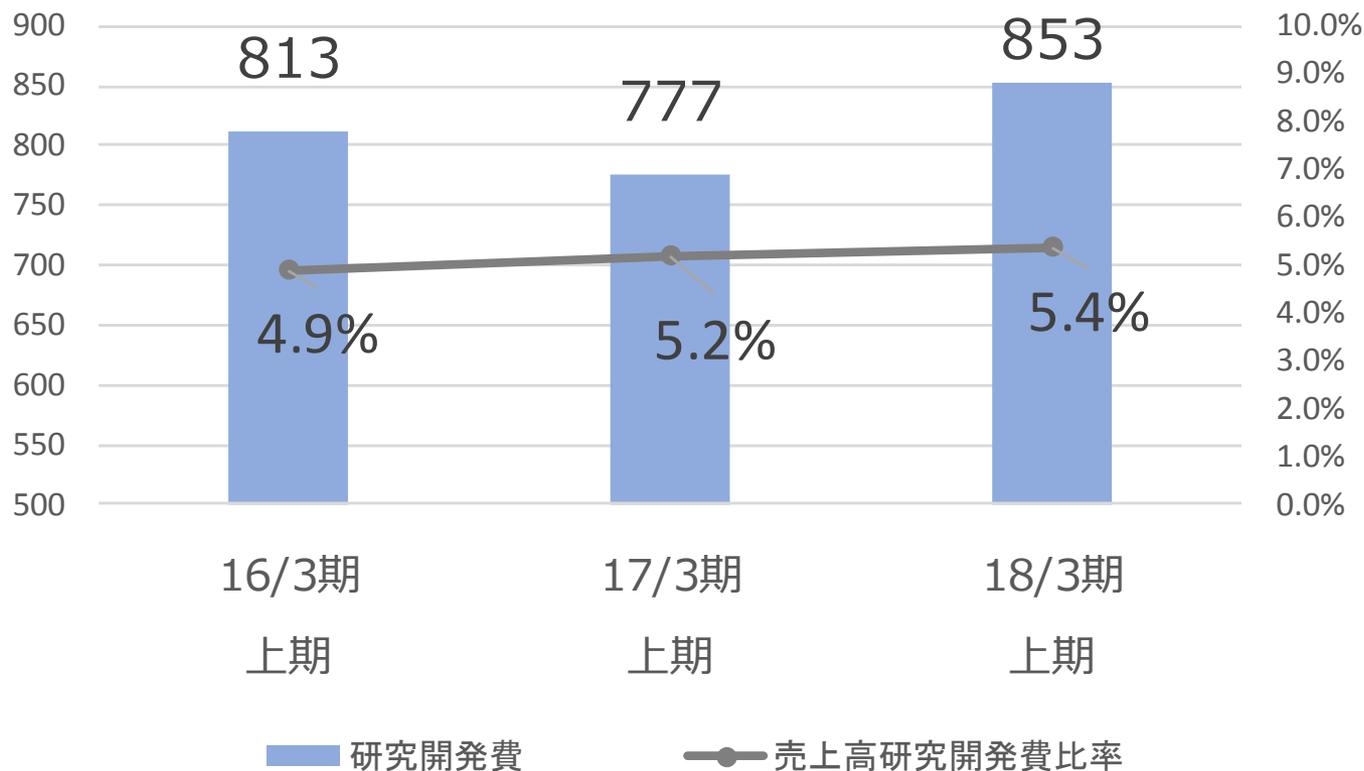
(単位：百万円)



- 16/3期 上期の設備投資の主な要因
 - ・ 本社移転に伴う新棟建設投資
- 18/3期 上期の設備投資の主な増加要因
 - ・ 連結子会社東邦化研工業(株)の本社移転に伴う新棟建設投資
 - ・ コンポーネント事業の製造装置増強投資

研究開発費、売上高研究開発費比率

(単位：百万円)



- 18/3期 上期 研究開発費の主な増加要因
コンポーネント事業における事務機器関連の新用途開発

連結貸借対照表

(単位：百万円)

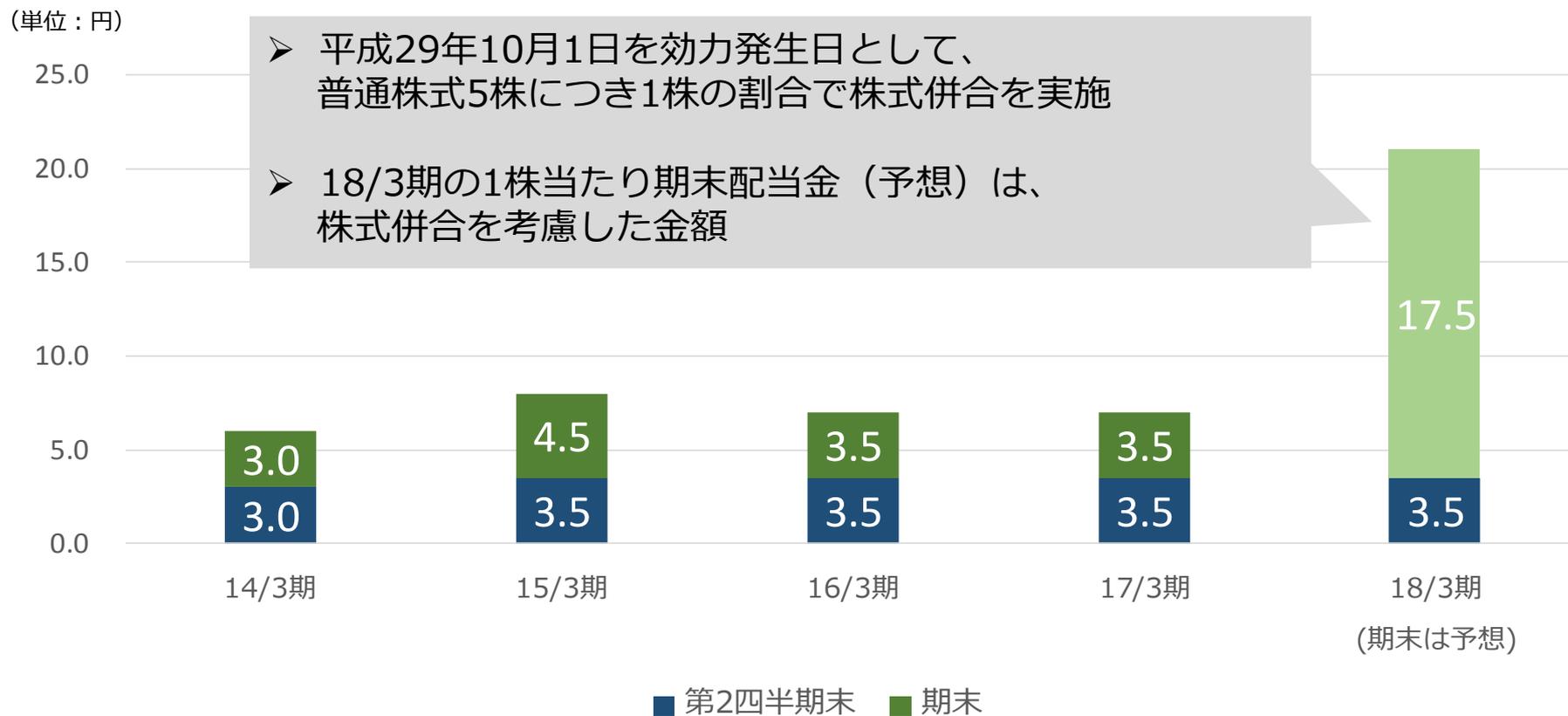
	17/3期 期末	18/3期 上期末	前期末 増減額
流動資産合計	25,427	24,622	▲ 805
固定資産合計	16,830	17,669	839
資産合計	42,258	42,291	33
流動負債合計	13,496	13,635	139
固定負債合計	5,069	4,669	▲ 400
負債合計	18,565	18,304	▲ 261
純資産合計	23,692	23,987	295
負債純資産合計	42,258	42,291	33
自己資本比率	50.2%	51.0%	0.8%

連結キャッシュ・フロー

(単位：百万円)

	17/3期 上期	18/3期 上期	前年同期 増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	▲ 84	576	661
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 1	▲ 824	▲ 822
財務活動によるキャッシュ・フロー	38	▲ 478	▲ 516
現金及び現金同等物の増減額(▲減少)	▲ 609	▲ 744	▲ 134
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,424	4,834	▲ 590

配当の状況



連結業績予想

(単位：百万円)

	17/3期 実績	18/3期 予想	前期 増減率
売上高	31,301	32,500	3.8%
営業利益	930	1,000	7.5%
経常利益	1,180	1,000	▲ 15.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲ 1,376	350	—

※連結業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合あり。